

K O N O H A E T T I

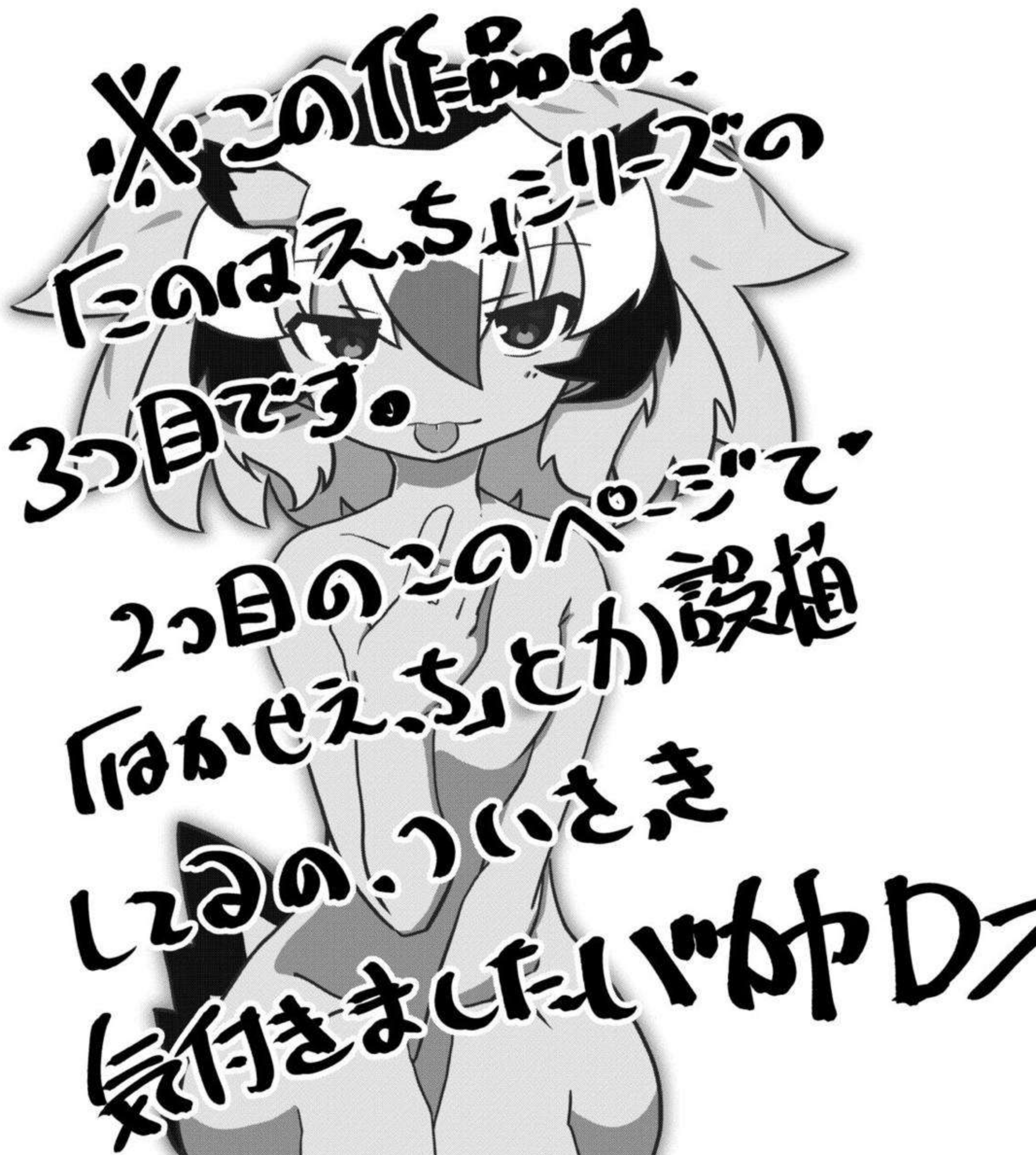
APPLE WOLF 0006

# このはえっち3



Kemono  
Friends  
fanbook





\*この作品は、  
「おはえち」シリーズの  
3つ目です。  
2つ目の「おのへ」で  
「おはえち」が誤植  
して「おのへ」いき  
気付きました！「おのへ」





：いや、こんなに用意頂かなくても良かったですよ？

しかも全部特製の…



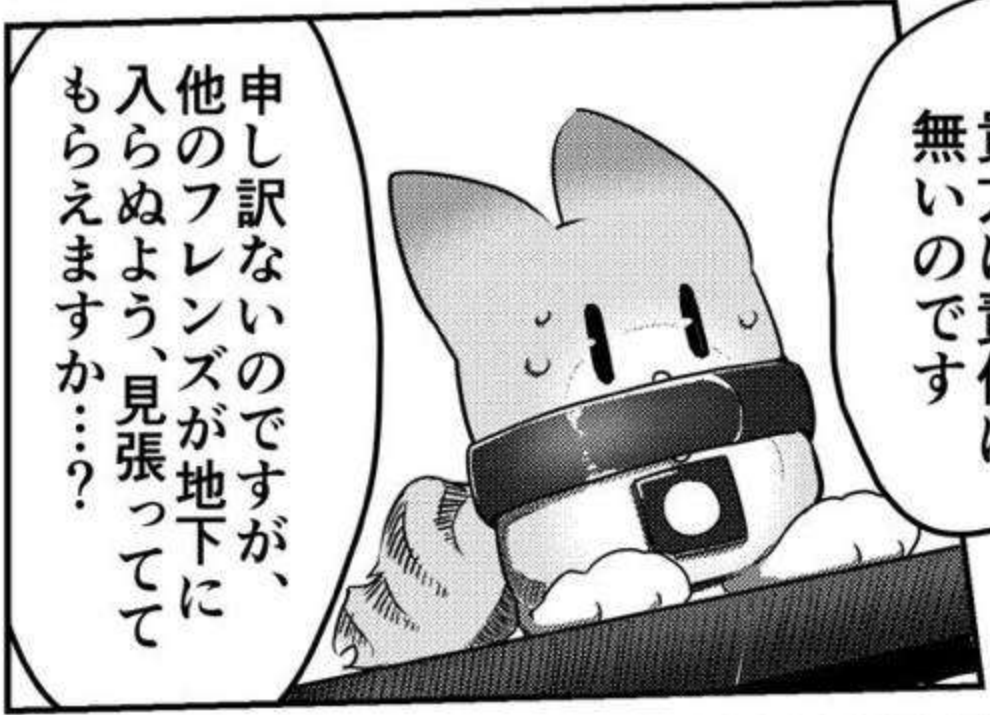
随分と早いですね



どうにか  
しますっ  
てば…



じい…



申し訳ないのですが、他のフレンズが地下に入らぬよう、見張っててもらえますか…？

少なくとも  
貴方に責任は  
無いのです



：私が蒔いた種です



二時間くらいで  
かまいません…

時間オーバーしたら、  
ここを埋めてもらって  
構わないですよ





勿論ですが、  
こんな所で終わる  
つもりはないので、

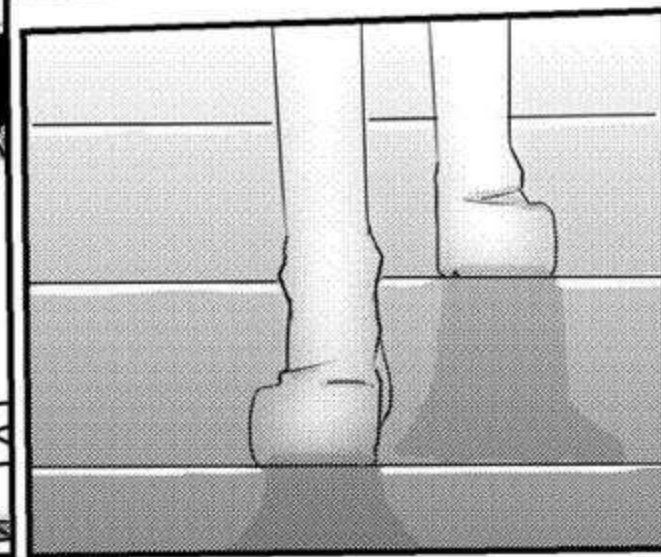
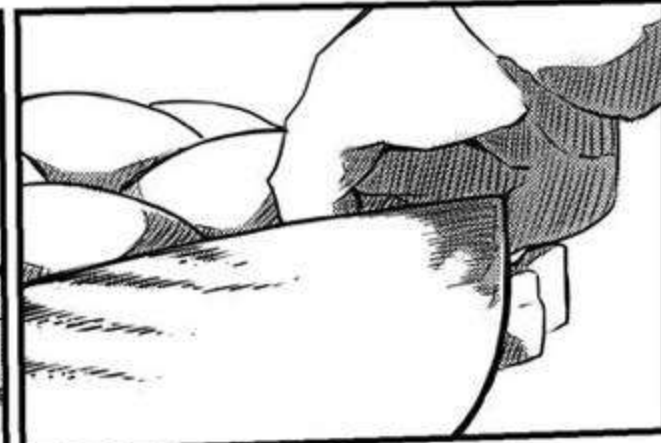
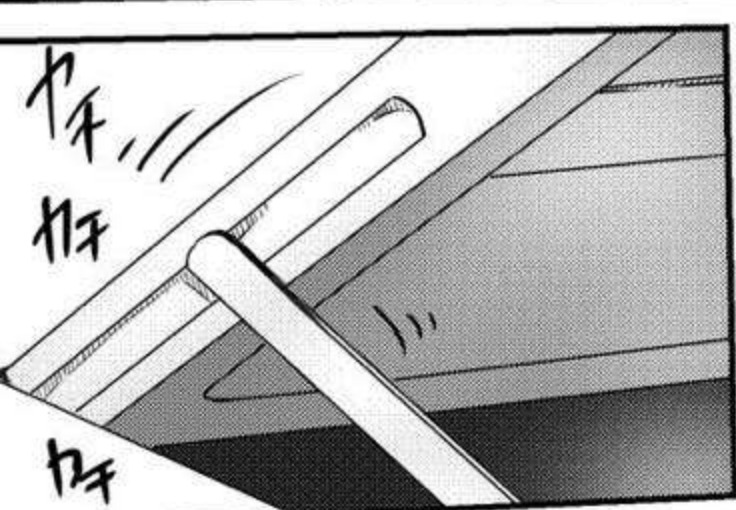
そこは  
ご安心を

説得と説教が  
無事に終わるのを  
祈っというて下さい

いえ、上手く  
やってみせます

そうじゃないと  
本当に不味い  
ですからね……

ほんとうに……  
ごめんなさい……



ヒトは、

様々なものを  
残して消えていった



…便利





そのまま名残となつて  
ここは動植物にとつての、

楽園になつた

それなのに私は  
楽園では飽き足らず、

ヒトの真似事を  
し続けている

そうしたら  
問題が起きた

私が  
起こした

ヒトの真似事を  
したばかりに、  
異例の問題を引き  
起こしてしまつた

多分、ヒトは、

問題ばかり  
起こしていた  
のでしょね

私程度ですら  
このザマ…

きつと比較に  
ならない程、  
起こつていた

だから  
我々は、

ヒトに近く  
なればなるほど、

だから私は、  
そして助手は、

早急に、

ヒトと同じ  
過ちを、

繰り返す  
かのように  
繰り返す事  
でしょう…

数多くの教訓達を、

学ばなくてはならんでしよう





：10分くらい  
お待たせしました

ごきげんいかが  
ですか、助手？

：おや、  
良い子  
なのです



言いつけどおり  
抜け出そうとは  
しなかったようで



気に入ってくれて  
いるようで、  
なによりですよ

イスをひとつ  
無駄にした  
甲斐がありました





もう少しだけ  
ガマンして下さい

お辛いでしょうが、



かわいいそうに

……



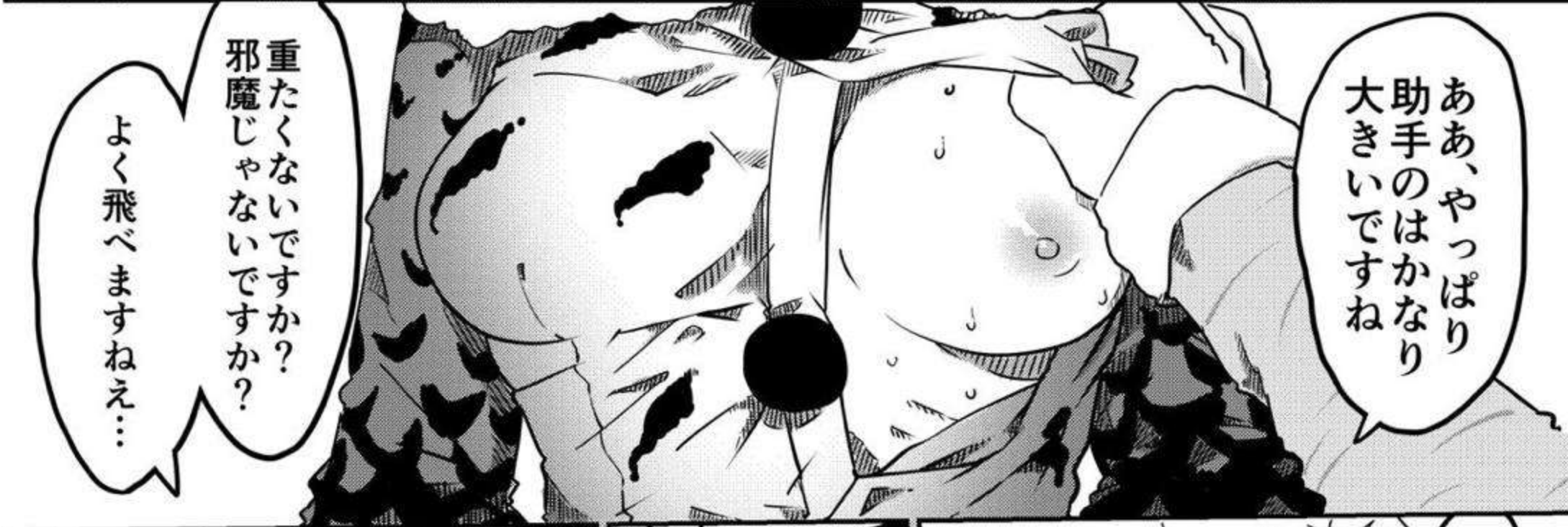
これは  
バツなのです



ですがね、助手



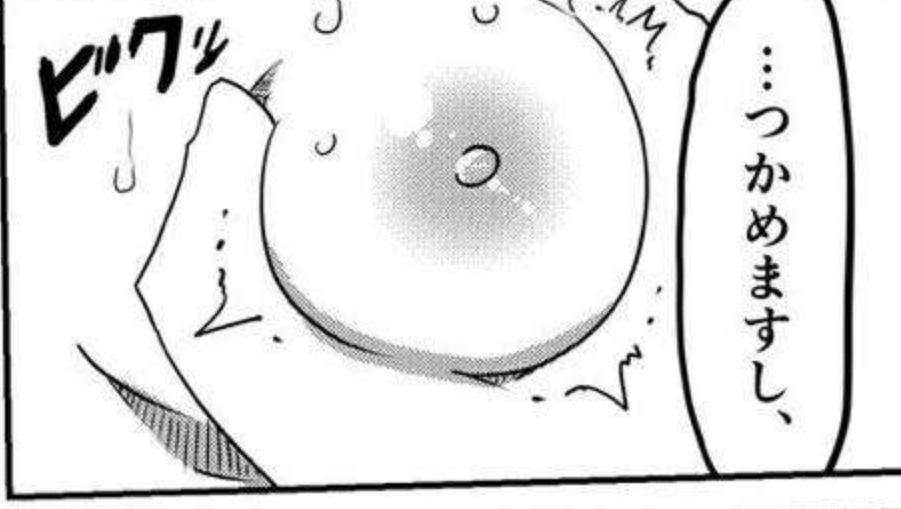
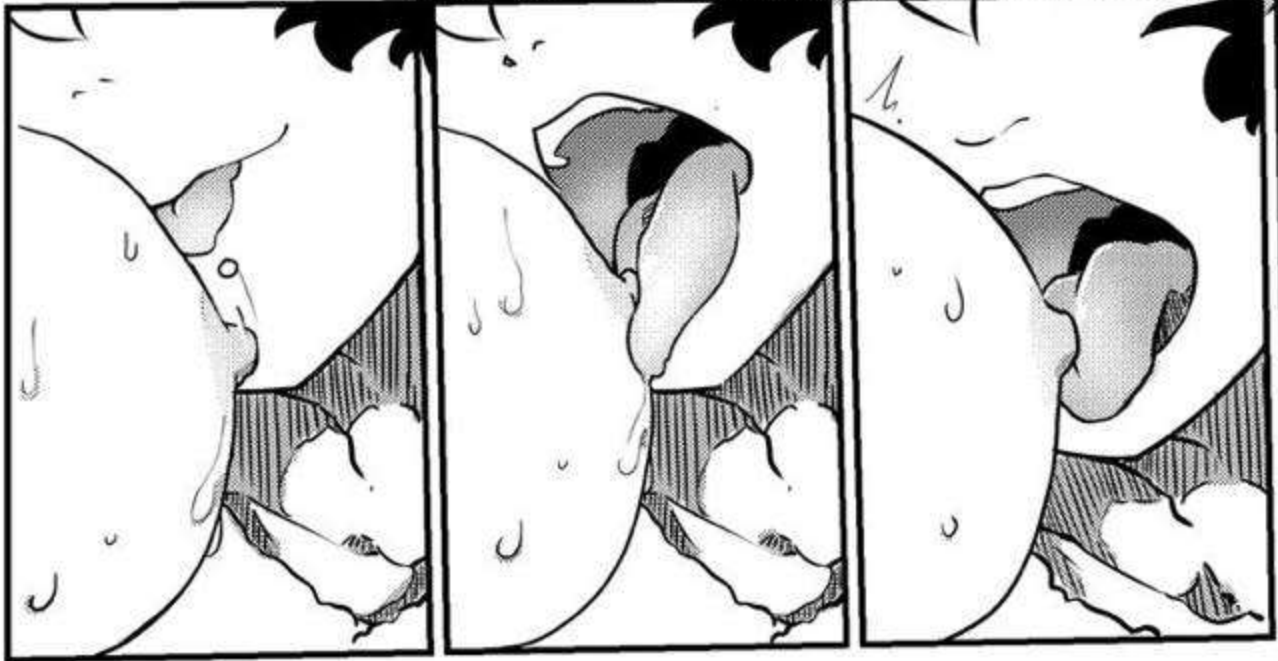
私だって  
こんなことは  
したくないの  
ですよ？



ああ、やっぱり  
助手のはかなり  
大きいですね

重たくないですか？  
邪魔じゃないですか？

よく飛べますねえ…



…つかめますし、



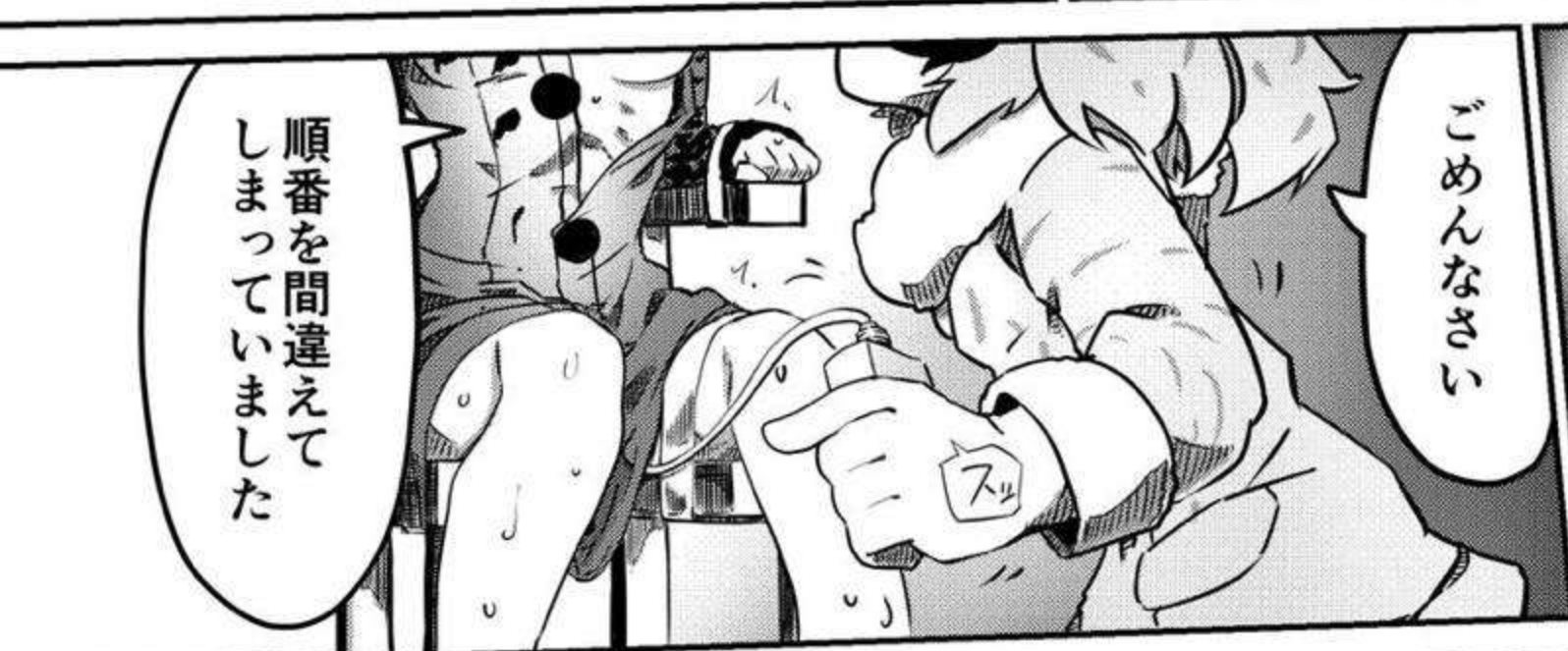
とっても  
美味しそうでは、

ありま  
せんか…





い、い、い



ごめんなさい



あ

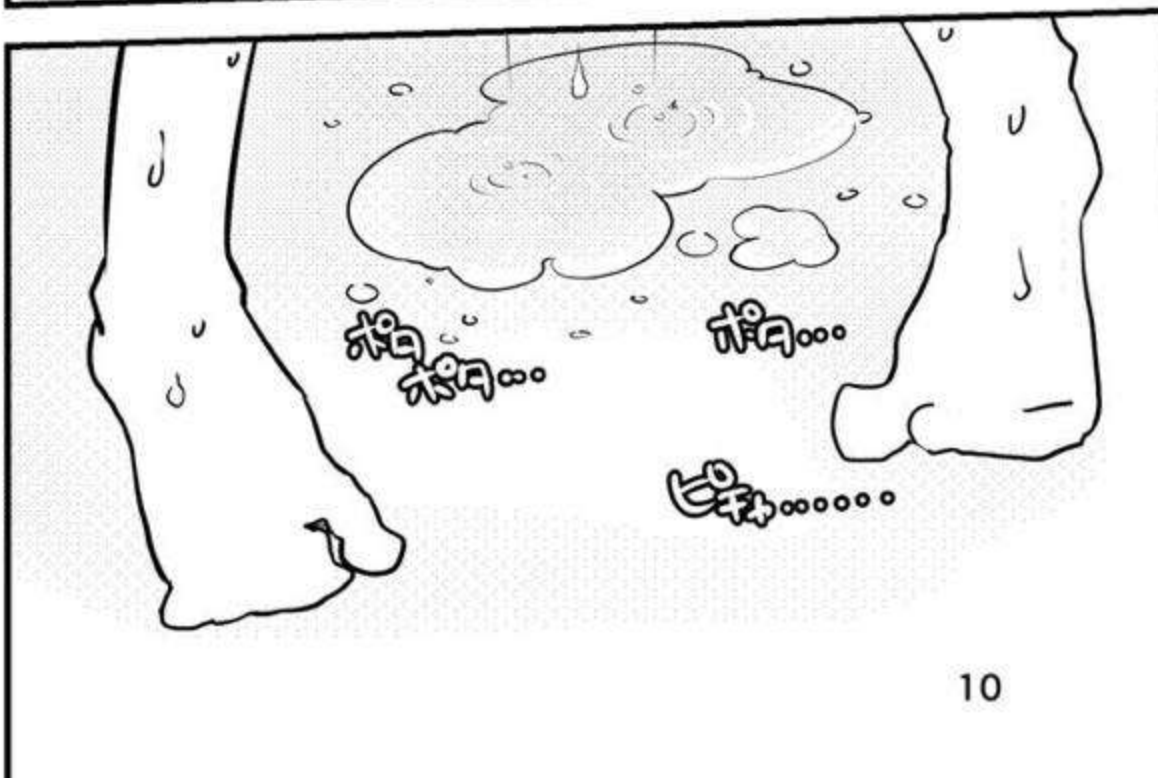
順番を間違えて  
しまっていました



ほら、  
助手も卵、

産んじゃって  
いいですよ？







たった10分ちよっとの間に、

助手は何度、

絶頂して  
しまった  
のですか…？

……

はかへ…

ひび

わ

わ

こえ…  
きこえ…  
きこえ…

違う！  
助手はッ

…！

…助手は、

…ッ

あ…  
あ…  
あ…





嫌である筈なのに感じてしまう  
自分の事を、とんだ「変態」だとか  
思い違いしてしまった事でしよう……



……助手は私とは逆で、  
かなり感じやすい  
体質のようですね……

しかし助手は  
それを知らない

だからこそ、  
かなりのシヨックを  
受けたはずです



これは、  
予定をかなり  
変更しないと……



もしも耐えられたなら、  
私は貴方を許しましょう

今から10分間、私は  
貴方に何ら躊躇いません



……私なら  
力まかせに  
イスを壊して  
しまっています  
と思います







：嫌がっても無視します、という意味ですよ











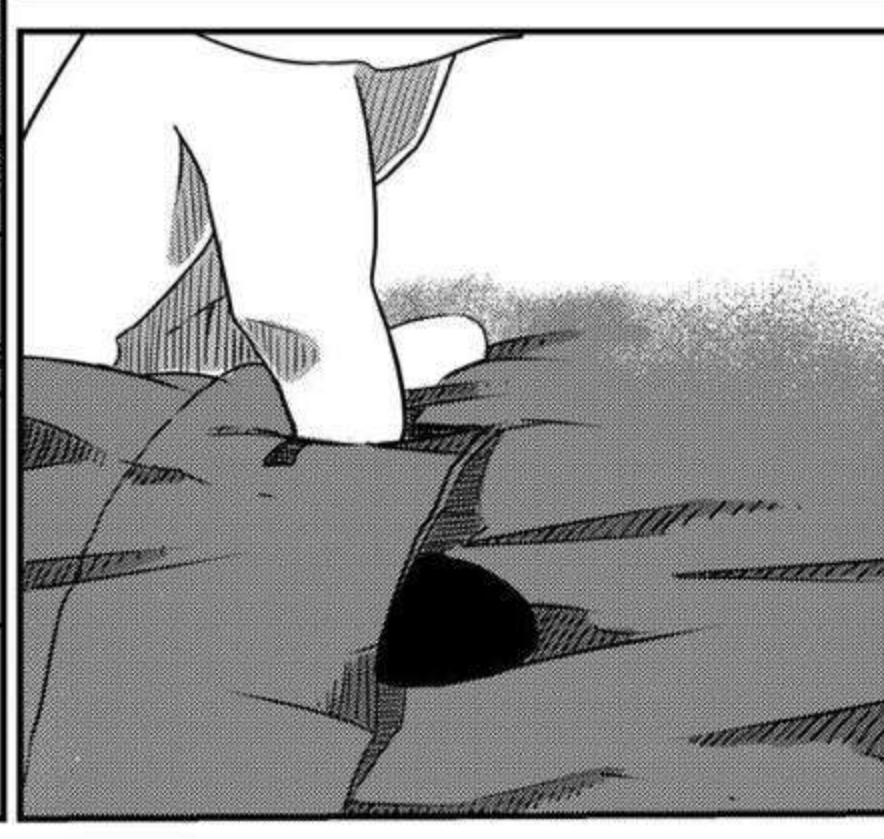
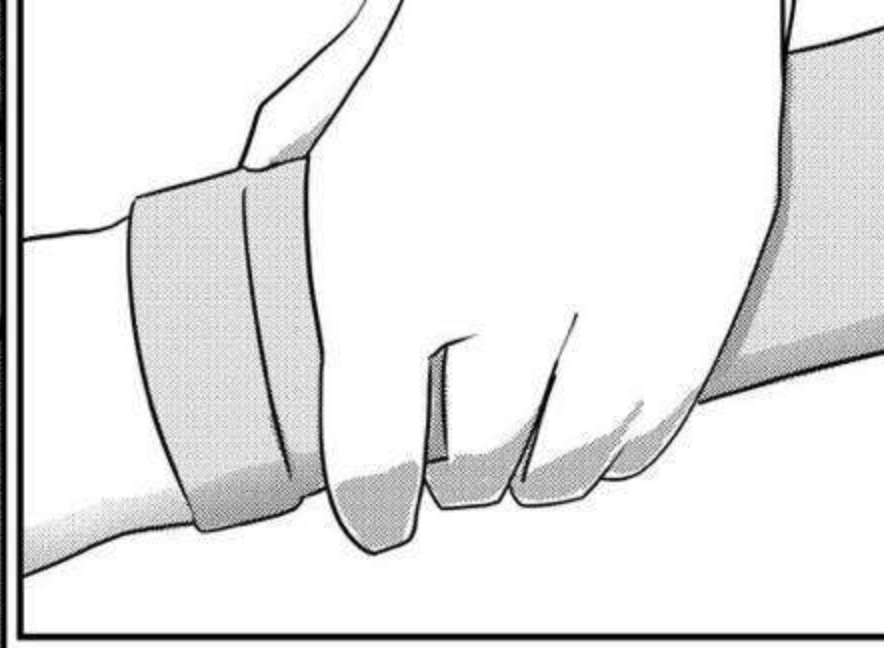
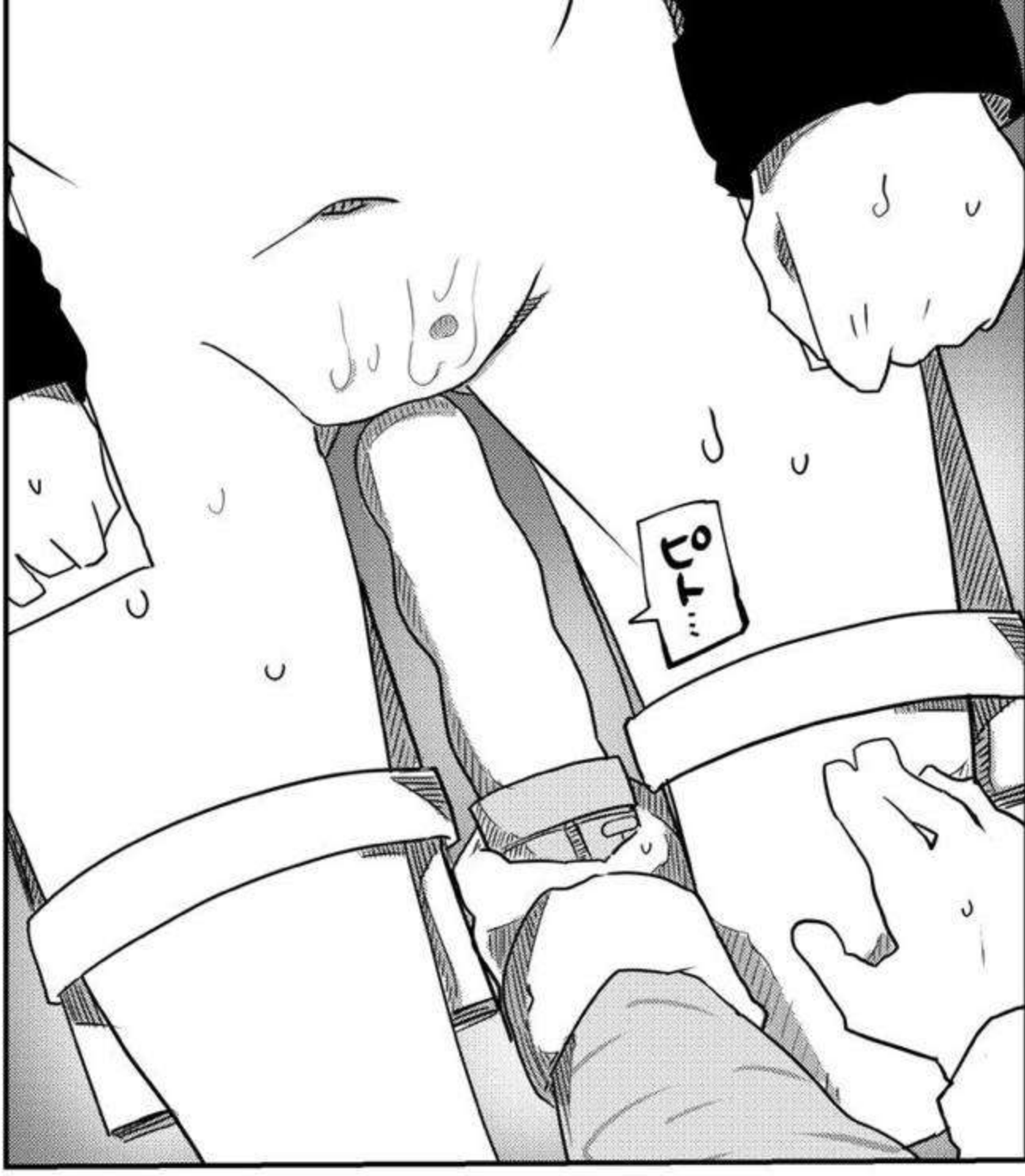




















切らなきや

スイッチ、

じゃなく、

よし、止まっ...



どうして...?

.....





いやもう無理ーッ!!!



つつづ…けてくださ、さい…

じゃないと…

バツに…

ポロ

ポロ



もう充分なのです!!!

足をピーンってして  
あんな大声出して!

ねえ見ました!?

すっごく足ピーンって!!!

この足が  
ピーンって!

ピーンって!



なにより、

これ以上は、  
死んじゃう、かも…



私や貴方ならちよっと  
力をこめるだけで簡単に  
イスが壊れますよ!



…あの助手、  
意識、ありますか?

……砂時計…



なのに、貴方は  
必死に耐えました

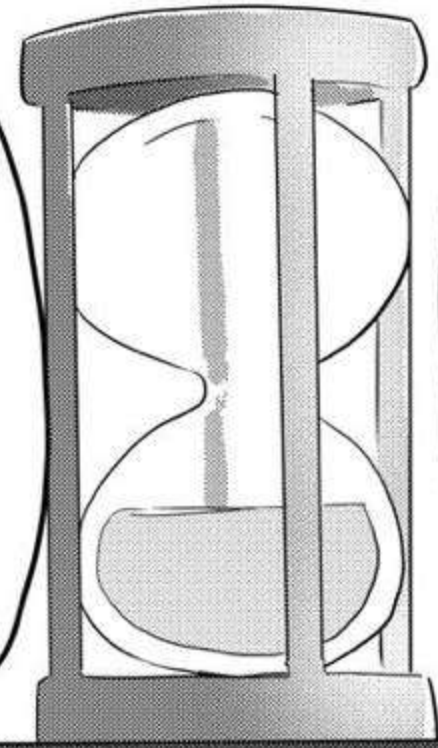
あんなになっても  
貴方は約束を  
守りました…





10分の砂時計なんて存在しないから…

ひっくり返さなかったのは、



私の視界外の背後に砂時計を置いて…

だからわざわざ、

すぐに私の注意を博士へ向けさせた

焦ったフリをしながら、責め立て続けようとしていた

あとはタイミングを見計らって、適当に言いくるめるつもりだった、ですよ？

喋りたくともこれでは…ですね？

時間がありません

……えっと、意識があるという証明になっていきますか、博士…



ゆ、指で、ですよ？

…まあ…、他にも…

つ、机とか…



……私、助手に隠れてひとりで、

結構前から、

……してたんですよ

……でも、

絶頂した事はありませんでした



感じは  
するんですが…

どういうワケか  
とある地点から  
登ってくれなくて、

絶頂は、ボスの時が  
初めてだったのです…

正直、助手に  
頼るだなんて、

私には出来ま  
せんでした…

こんなことに  
巻き込めなかった  
…というのには、  
ただの言い訳です

…ただ

くつつつそ

恥ずくて…  
相談するの…

…ええ好きですよ？

ボスのこと  
好きです！

でもアレ、ポンコツだから  
都合が良さ過ぎたんです！

誰かに言いふらす  
心配も多分無いし、  
遠慮するだけ  
なんか無駄だし、

いろいろ色々で……っ！



…あ、でも私だって、  
助手がどう思うか  
考えなかったワケでは  
なかったのですよ？

だからコソコソ  
してたのですし…

でも見つかったら…  
怒るのも当然のことです…

だから、ただ黙ってバツを  
受けようとはしてたんですよ？

そのつもりでしたけど、  
なんかボスのことを急に  
悪く言い始めるものだから、

ついカッとなって…

それにあの考え方は  
問題だと思いました

誰かを比べ貶めないと  
貴方や私を褒めるには  
不足していますか…？

あの時の助手は、  
ボスと対抗すること  
しか考えてなくて、

その、私を  
見てくれて  
なくて…

…原因が私にあるのは、

分かって  
います…

だって  
助手はただ、

私が取られちゃうんじゃ  
ないかって思ってた、  
必死だったんですよ…？

私に頼って  
もらえなくて

ショックだったんですよ？

見捨てられ  
ちゃうんじゃない  
ないかって、  
焦ったんですよ？

怖かったん  
ですよ？

ひとりぼっちに  
なっちゃうんじゃないかって、  
すっごく怖かったんですよ？

ジャパリまんすら  
作れない私には…  
何も出来ない私には…





ごめんなさい……

はかせ……



…冷静になんて、なれるワケがないですよね…

そりゃ急ぎ過ぎますよね…

助手…、今更ですが謝らせてください



…いや、多分違う



…それは

謝るな、という意味ですか…?



…あ、あの



助手…、貴方は少し優しすぎる



は、はかせ…?

…なにを…?



仕切り直しです

当然でしょう？

?

だって  
私まだ、

いってない!!

それに…

あんなエロい  
助手を目の前で  
見せつけられて  
そこで終わりとか、

殺生なの  
ですよ…!!





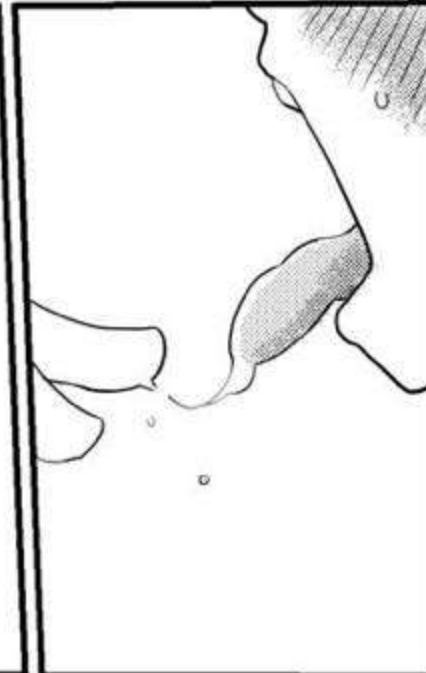












ワシミミズクです

すべて

何が、違うんですか……

貴方はラッキビースト  
ではありません……

これ、具合させて  
言うらしいですよ





あなたの声で!!!  
何度も何度も!!!

もっと呼んでよ  
コノハってッ!!!

わかってるのにー

ウソでも  
うれしいよー



だから貴方の声で、

「いのほ」って呼んで



ねえ

呼んで



…博士



だめ

このはって  
呼んで!



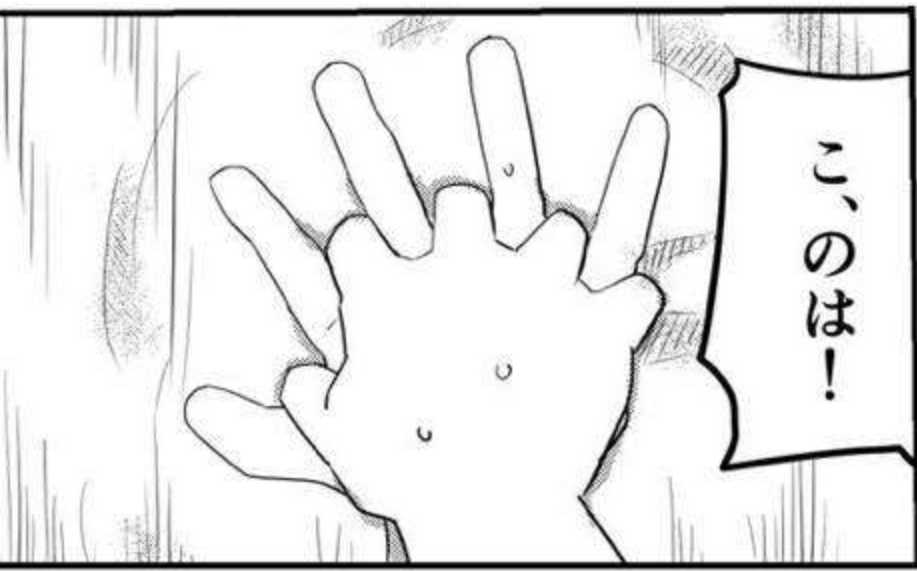
私の目を見て、  
他の誰よりも  
近い場所から、

私を  
呼んで…

















ム……のは……は……



こ……のは……

……みみ、大丈夫ですか？



いや、助手は何十回もイってましたから、既に限界だったのでしょうね……



意識を失ってる……



……ありがとう



……よしよし

本当によく頑張りましたね

私の為に……





素足で靴は  
やめときますか

.....

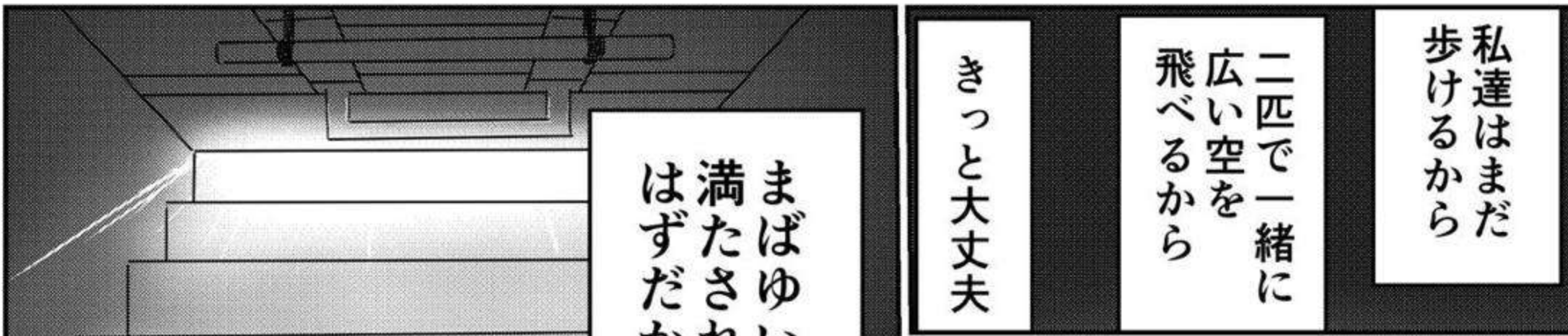


さて、さっさと  
表の置物を  
どけておきますか



すべてが  
解決したとは  
言えないけれど

問題はこれからも  
起こるだろうけれど



私達はまだ  
歩けるから

二匹で一緒に  
広い空を  
飛べるから

きっと大丈夫

まばゆい光で  
満たされている  
はずだから……



重たい扉の先は、







# あとかま

どうも ~~7Liquid~~  
7Liquid です。



お買い上げありがとうございます。ごさいます。  
ほか、お背もおはいいもいじか  
ないですか。でもね、とした時に  
横から見た際に例えは髪とかかま  
上げた時にちがかな曲線が確かに

■サークル■

APPLE WOLF (7Liquid)

■印刷■

■URL■

<https://fantia.jp/fanclubs/5345>

この作品の無断転載・無断アップロードは、  
それとなく禁止させていただきます。  
何より18歳未満の方の購入は固く禁じます。

存在してさ  
どの少しの  
情報量だけ  
あつな  
んてすよ



